

第1学年国語科学習指導案

日時 令和3年10月15日(金) 5校時

指導者 1組 八重樫 美穂 2組 工藤 真帆

学習者 1年1組 32名 1年2組 31名

- 1 単元名 せつめいする文しょうをよもう
教材名 「じどう車くらべ」(光村図書 1年下)

2 単元について

(1) 児童について

これまで児童は、1年上「くちばし」で、「問い」＋「答え」の繰り返しで構成された文章を学習し、そのことを生かして「問い」と「答え」のクイズ形式のカードを作成し、友達や家族に問題を出すといった活動をしてきた。さらに1年下「うみのかくれんぼ」で「問い＋答え＋答え＋答え」で構成された文章を読む学習を行ってきた。

児童は、「問い」や「答え」の文については、見つけることができたが、一緒に読み、書くための支援が必要な子もいるため、全体で確認しながら丁寧に指導をする必要がある。そのため、既習内容を生かして、自分でも「問い」や「答え」の文を見つけられるように掲示を工夫してきた。学習過程を掲示することで、それを見て気づく機会を多く設けることができた。また、書いたり話したりすることが苦手な子も、交流の中で友達の話したことを真似て話したり、書いたりすることで少しずつできることが増えてきている。

また、児童は、伝え合い活動の一つとして、ペア学習でインタビューする経験を重ねることで、サイドラインの場所を確認し合ったり、読み取ったことを話したりすることができるようになってきた。また、自分で選んだものをカードにまとめる学習をペアで行うことで、書いてある内容の順番に気をつけて読み、大体を読み取ってカードにまとめることができた。ペアで文章についてインタビューすることが、内容の順番や大体を読み取ることにつながり、自分で作ったカードを意欲的に紹介できるようになってきた。聞いてくれる、反応してくれるといった環境を作ることで、もっと話したい、発表したいという児童が増えてきている。国語や生活科の学習をはじめ、他教科でもカード等書いている言葉に着目して伝え合う活動を行っている。

(2) 教材について

第1学年「C 読むこと」の指導事項は、「ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。」である。これを受けて、自動車の「しごと」と「つくり」といった重要な語や文を文章から見つけて、事柄の順序を考えながら内容の大体を捉えることをねらいとしている。

本単元は、「うみのかくれんぼ」と同様に「問い＋答え＋答え＋答え」の列挙型の構成になっている説明文である。「どんなしごとをするのか」、そのために「どんなつくりになっているのか」という2つの問いがあるため、2つの段落に分けて書いてある明確な文章構成である。「しごと」と「つくり」を表にまとめ、整理することで2つの関係性と「そのために」のつながり言葉の理解を促すことができる。様々な自動車の中から自分が選んだ自動車の「しごと」とその特徴となる「つくり」を表す重要な語や文に着目して内容の大体を読み取る力をつけるには適した教材である。

(3) 指導にあたって

本単元のねらいである、自動車の「しごと」と「つくり」といった重要な語や文に着目して、事柄の順序を考えながら内容の大体を捉えた文章を捉えるために留意したい点は、次の通りである。

時間的な順序や事柄の順序を考えながら内容の大体を読み取るために、それぞれの自動車の仕事を比べ、つくりの違いを明らかにしていく。選んだ自動車の固有の「しごと」と、その特徴となる「つくり」を表す重要な後や文を考えて選び出せるように指導していく。次の単元に「じどう車ずかんをつくろう」があり、そこで自動車図鑑を作る言語活動が設定されている。本単元では、「読むこと」の単元であり、ここでは自動車の仕事とつくりを取り出して書く言語活動を行う。文章の中の重要な後や文は何かを考えて選び出せるようにし、自分で説明文を書く活動につなげていく。

本時は、読み取りの仕方を身につけた上での3つ目の自動車「クレーン車」となる。「しごと」と「つくり」の色分けやインタビューによる伝え合いの授業の流れの中で、ワークシートにまとめる際は、自力解決を促す展開をしていく。さらに、3つの自動車の「しごと」と「つくり」を1つの表にまとめて整理することで、それぞれの自動車の「しごと」に適した「つくり」があることに気づけるようにしていきたい。

このような学習を生かして、「はしご車」の「しごと」といくつか挙げられるであろう「つくり」の中から、適した「つくり」を選べるように指導していく。本単元の学習と同時に他の図鑑や絵本等への読み広げを促し、自動車について興味をもち、自ら「しごと」と「作り」に視点をもった読みの力をつけていけるようにしたい。

3 単元の指導計画

(1) 目標

○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。〔知識及び技能〕(2)ア

○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。

〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)ア

○文章の中の重要な語や文を考えて選びだすことができる。〔思考力・判断力・表現力〕C(1)ウ

○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。〔学びに向かう力・人間性等〕

(2) 評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア)	①事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 (C(1)ア) ②文章の中の重要な語や文を考えて選びだしている。 (C(1)ウ)	①粘り強く文章を読み、学習の見通しをもって、説明における順序や言葉の重要性を知り、自分が選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を選びだし、内容の大体を捉えようとしている。

(3) 指導と評価の計画 (全7時間)

時	目標	主な学習活動	伝え合う活動 (形態)	評価規準・評価方法
1	○自動車にはそれぞれ「しごと」と「つくり」があることに気づき、学習の見通しをもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の種類について、知っていることを話す。 ・本文を読んで、出てきた自動車の「しごと」と「つくり」をおさえ、学習課題を確かめ、学習の見通しをもつ。 ・並行読書を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている自動車について話し合う。 <p>(ペア→全体)</p>	
2	○問いの文や出てきた自動車の文章内容の大体を捉えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・全文を掲示し、3つの自動車の具体例による構成をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの問いの文と3つ自動車を挙げて答えが書かれていることを確認し合う。(全体) 	<p>【思考・判断・表現①】</p> <p>発言・ワークシート記述</p> <p>問いの文と3つの自動車の「しごと」と「つくり」を捉えているか確認する。</p>
3	○事柄の順序を考えながら読み、「バス・乗用車」の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」と「つくり」の関係を整理し、まとめる。 ・「そのために」という言葉に着目する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスと乗用車の「しごと」と「つくり」についてインタビューし合う。(ペア) 	<p>【思考・判断・表現①】</p> <p>発言・ワークシート記述</p> <p>事柄の順序などを考えながら、自動車の「しごと」と「つくり」を捉えているか確認する。</p>
4	○事柄の順序を考えながら読み、「トラック」の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」と「つくり」の関係を整理し、まとめる。 ・「そのために」という言葉に着目する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラックの「しごと」と「つくり」についてインタビューし合う。 <p>(ペア)</p>	<p>【思考・判断・表現②】</p> <p>発言・ワークシート記述</p> <p>文章の中の「しごと」や「つくり」に関する重要な語や文を捉えているか確認する。</p>
5 (本時)	○事柄の順序を考えながら読み、「クレーン車」の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」と「つくり」の関係を整理し、ワークシートにまとめ、動作化をして確かめる。 ・3つの自動車の「しごと」と「つくり」を比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の「しごと」と「つくり」についてインタビューし合う。 <p>(ペア)</p>	
6	○事例の順序について考える活動を通して、構成の意味を捉えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな順番で自動車が登場しているかを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明するときに登場している自動車の順のよさを伝え合う。(ペア) 	<p>【知識・技能①】</p> <p>発言・ワークシート記述</p> <p>事柄の順序や身近にある自動車やその「しごと」固有の自動車の関係を理解しているか確認する。</p>

7	○はしご車の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。	・資料に線を引きながら、「しごと」と「つくり」の関係を整理し、ワークシートにまとめる。	・カードに書いた文章を読み、「しごと」と「つくり」についてインタビューし合う。(ペア)	【主体的に学習に取り組む態度①】 発言・ワークシート記述 説明における順序や自分が選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を選びだしているか確認する。
---	------------------------------	---	---	---

4 本時の指導 (5 / 7時)

(1) 本時の目標

事柄の順序を考えながら読み、「クレーン車」の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。

(2) 本時の評価規準 (学習者の姿)

概ね満足できる姿	クレーン車の「しごと」と「つくり」を本文から抜き出し、文章構成・内容の大体を捉えている。
努力を要する学習者への支援	「しごと」と「つくり」によって色分けされたサイドラインに注目させ、クレーン車の絵から「つくり」を理解させる。

(3) 本時の展開

段落	学習活動 (○主発問 ・ 予想される学習者の反応)	指導上の留意点 評価方法
導入 5分	1 前時までの学習を振りかえる。 2 課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ㊦ 「クレーン車」の「しごと」と「つくり」をよみとろう。 </div> 3 課題解決の見通しをもつ。	・今日の学習する内容、順序、ゴールを示す。
展開 33分	4 音読をし、サイドラインを引く。 (1) 全員で、音読をして、自動車の絵と言葉を結びつけて、確認する。 (2) 「仕事」(赤線)・「そのために」(黄線)・「作り」(青線) 3色に分けてサイドラインを引く。(自力解決→全体) 5 ワークシートにクレーン車の「しごと」と「つくり」を書く。 (自力解決) 6 「つくり」について、インタビューをして、「しごと」に適した「つくり」になっていることを確認する。 ○どうして、「うで」がついているのですか。 ・じょうぶな「うで」が伸びたり動いたりして、重い物をつり上げるからです。 ○どうして、「あし」がついているのですか。 ・しっかりした「あし」で、車体が傾かないようにするためです。 7 伝え合ったことから、ワークシートに付け足したいことなどをまとめる。 8 クレーン車の動画を視聴し、動作化を試みる。 9 3つの自動車を比べ、自動車の「つくり」の違いは、「しごと」の違いによるということを表から捉える。 ○3つの自動車は、みんな同じ「つくり」ではないのは、なぜですか。 ・「しごと」がちがうからです。 ・「つくり」が同じだと それぞれの自動車の「しごと」ができないからです。 ○赤線「しごと」と青線「つくり」をつなぐ言葉は、何でしょう。 ・「そのために」です。	・音読の後に、「うで」と「あし」についても絵を示して確認する。 〈伝え合い〉 (ペア) ・インタビューをして、その「しごと」をするための「つくり」であることに気付くようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【思考・判断・表現①】 発言・ワークシート記述 クレーン車の「しごと」に適した「つくり」を抜き出し、内容の大体を捉えているか確認する。 </div> ・動作化で、「しごと」と「つくり」の理解を深める。 ・表にそれぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を整理して板書に示す。 ・「そのために」のつなぐ言葉は、「しごと」と「つくり」のそれぞれのまとまりをつないでいることを理解させる。
終末 7分	10 本時の学習を振り返り、感想を話す。 11 次時の学習を知る。	・振り返りの視点を示した上で、本時の感想を書かせ、発表させる。 ・次時への意欲と見通しを持たせる。

(4) 板書計画

